

## 「北九州市営バス事業あり方・役割検討会議」を受けた 第4次北九州市営バス事業経営計画の取組について

### 1 「第4次北九州市営バス事業経営計画」の具体的な取組(概要)

#### 〈1 「市民の生活の足」を守り続ける〉

##### (1) 人材の安定的な確保

###### ◆運転者の適切な処遇の確保

##### (2) 効率的な路線・運行形態の構築【令和8年3月28日ダイヤ改正】

###### ◆利用者数が多い路線・システムの維持強化

###### ◆利用者数が少ないが、「生活の足」として必要な路線の効率化

効率的なダイヤ編成や既存ルート of 最適化を図るとともに、利用者の少ない時間帯や曜日における便数を見直し、利用者の利便性を考慮しつつ、最大限の効率化を考慮したダイヤ改正を行いました。

##### (3) 安全で安心した交通サービスの提供

###### ◆安全・安心な運行（運転者を対象とした研修の充実）

#### 〈2 「乗りたくなるバス」を目指す〉

##### (1) 利用者サービスの向上策

###### ◆「ふれあい定期70」の新設【令和8年3月28日開始】

高齢化の進展に合わせ、70歳～74歳の方を対象とした「ふれあい定期70」を新設。これに併せて、運転免許証を自主返納した方に「ふれあい定期」を5割引で販売する割引制度の対象を70歳まで引き下げました。

###### ◆小・中・高校生向け運賃「こどもミライ割」の新設【令和8年3月25日開始】

小・中・高校生の運賃体系を見直し、休みの日や夏休みなどの長期休暇限定で小学生無料、中・高校生100円の新たな運賃を設定しました。

##### (2) 利用促進を目指した情報発信の強化

###### ◆乗り方教室等を通じた地域PRの実施

#### 〈3 経営基盤の強化〉

##### (1) 収入の確保

###### ◆運賃体系（運賃、定期、企画券）の見直し【令和8年3月28日実施】

「市民の生活の足」を守り続けるために運賃の見直しを実施。運賃の見直しに合わせ、1日乗車券の価格も見直しました。

###### ◆貸切・受託事業の強化

観光バス車両の増車、専任運転者の増員、営業体制の強化により、事業規模の拡大とサービスの向上を図り貸切事業・受託事業の受注拡大を強力に推進しております。

##### (2) 効率的な路線・運行形態の構築【再掲】

##### (3) 継続的な改善

###### ◆交通局全職員の経営改善意識の共有

## 2 北九州市営バス事業あり方・役割検討会議 構成員からのご意見（抜粋）

### 【市営バスのあり方・役割】 →令和8年2月に第4次計画を策定

- ・利用者にとって、市営バスは生活に欠かすことができない交通ネットワークである。
- ・このネットワークを維持していくため、経営改善が必要である。

### 【運転者確保策】 →運転者確保策を積極的に展開中

- ・バス事業は「バス」と「運転者」が構成要素として必須である。
- ・運転者不足は事業の存続に関わる問題と考える。
- ・若い運転者の確保が重要であり、若者向けのショート動画の作成等が必要である。

### 【利用者サービス向上策】 →令和8年3月28日開始

- ・「どの利用者を伸ばしていくか」、また「維持していくか」ターゲットを絞る。
- ・「こども料金」の見直しについては、将来バスに乗る習慣を身につけてもらうためにも、低額でも料金を取った方がよい。
- ・「ふれあい定期券」は、大変重要な施策であるが、割引率が高い。経営が苦しい市営バスが、この割引率のまま対象年齢だけを拡大することは経営改善につながらない可能性があり、負担の在り方を議論する必要がある。

### 【効率的な路線のあり方、運行形態】 →令和8年3月28日ダイヤ改正を実施。

- ・路線見直しは、利用状況を見ながら、積極的に行った方がよい。
- ・営業係数が300以上の路線は路線の移譲やAIオンデマンドバスの導入等の見直しを行い、見直しにより生み出される運転者を活用して、営業係数200以下の路線を強化し、営業係数の改善を図っていくべきだと考える。

### 【運賃体系の見直し】 →令和8年3月28日運賃改定を実施。

- ・市営バスが厳しい経営状況にあり、バスがなくなると困るので、運賃改定については理解できる。どの程度運賃改定すれば交通ネットワークを維持していけるかを考え、その運賃を市民が許容できるかを検討し、調整する。  
そして、足りない分を他の方法でどう補っていくかを検討すべきであると考えます。
- ・運賃体系の見直しは、今後の人件費等コスト上昇を考慮して検討すべきと考える。

### 【将来を見据えた可能性について】

- ・増便は、現在の人口構成だけでなく、先々の年齢構成も考慮する必要がある。  
また、進出企業の動向を見ながらニーズを的確に把握していく必要があると考える。
- ・時代の進展に伴い、自動運転等の新たな技術・制度がでてきているため、抜本的な見直しを行うことで大きく変革できる可能性もあると考える。

### 【全体】

- ・市営バス全体が一致団結して、しっかりと交通ネットワークを維持していく決意を持つ。
- ・経営改善に向けては、スピード感を持って進めていただきたい。